

2026 年の新年にあたり



皆さん、あけましておめでとうございます。

2026 年の年頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

災害防止協力の皆様におかれましては、ご多用のところお集まりいただき、誠にありがとうございます。
また、日頃より当社事業の推進にあたり、安全・品質の確保に多大なるご尽力を賜っておりますこと、
心より御礼申し上げます。

建設業を取り巻く環境は、資材価格や労務費の上昇、担い手不足、さらには自然災害の激甚化など、年々厳しさを増しております。そのような中で、私たちが担うリニューアル事業は、単に建物を「直す」仕事ではありません。既存の社会ストックを活かし、未来につなぐ仕事であり、そこにこそ私たちの社会的使命があると考えております。

私たちの社会的使命は、**「社会価値の創造」**であります。

第一に、既存ストックを適切に更新し長寿命化を図ることで、新築や解体・建替えに伴う社会的コストを抑制し、持続可能な社会の実現に貢献すること。

第二に、建物や施設の価値を維持・向上させることで、利用される方々の安全・安心を守り、お客様からの信頼に応え続けること。

そして第三に、地域に根ざした施設を健全に維持することで、地域の活力を支え、街のにぎわいと発展に寄与すること。

これらすべてが、私たちのリニューアル事業の存在意義であります。

その社会価値を確実に生み出すための基盤が、**「安全」と「品質」**であります。

安全が確保されない現場に、真の品質はなく、品質に妥協する仕事が、社会価値を生むことはありません。

だからこそ当社は 2026 年、安全と品質をこれまで以上に強化し、当社の最大の提供価値として位置づけてまいります。現場での一つひとつの行動、一つひとつの判断が、社会価値創造につながっていることを、ぜひ共通認識として持ち続けていただきたいと思います。

さて、本年の干支は、午（うま）年であります。

馬は古来より、「前に進む力」「行動力」「仲間と呼吸を合わせる力」の象徴とされてまいりました。

また、馬は決して一頭だけでは走らず、騎手や周囲との信頼関係のもとで、その力を最大限に発揮すると言われております。

私たちの現場も同じです。

元請と協力会社、立場の違いを超えて、同じ目標に向かい、同じ方向を見て進むことで、はじめて大きな成果と安全が実現します。

今年一年、ベストパートナーとして互いに高め合いながら、無災害・高品質の現場づくりに取り組んでまいりましょう。

結びに、災害防止協会のますますのご発展と、ご出席の皆様、ならびにご家族の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2026 年 1 月

東急リニューアル株式会社

代表取締役社長 佐藤順一